

今後も、商工会議所と連携を図りながら、市内中小企業への支援を続けていきたい。

問 市民の新規起業や今後成長が見込める新たな産業分野への進出に対して、今後どのように取り組んでいくのか。

市長 国の各種の支援策の活用を考慮しながら、市内中小企業の支援をしていきたい。

児童福祉・子育て支援

問 「ゆとり」ある保育環境整備や在宅保育家庭への支援充実は今後どのように取り組んでいくのか。

市長 保育士等による妊産婦・新生児訪問・乳幼児相談や遊びの教室の開催、幼児ことばの相談室や家庭児童相談室による相談援助業務等を実施している。今後も、よりきめ細かな相談援助体制の推進を図りたい。

なお、平成19年4月には、新たに私立保育園が開設し、受け入れ児童の拡充並びに待機児童の解消を図り、ゆとりある保育園環境を整備し、子育て支援センター設置や一時保育を開始することに、保育園に

入れない親子のサポート体制を強化していきたい。

問 子育てに伴う経済的負担の軽減に今後どのように取り組んでいくのか。

市長 子育て家庭の保護者の経済的負担を軽減するために、乳幼児医療費助成制度を平成18年8月1日より3歳児以上未就学児の7日間以上継続入院日数を1日入院から対象に助成することに改正をした。

また、児童手当制度の改正により、児童手当の支給対象年齢が平成18年4月1日より、これまでの小学校3年までから、小学校終了前までに拡充し、子どもを持つ親への援助を充実した。

八街駅周辺整備の促進

問 八街駅南口駅前広場横断歩道の歩行者優先表示としてゼブララインなどの明確表示はできないか。

市長 歩行者が自由に通行できる場所であれば、道路交通法上の道路と認められることから、ご指摘の場所へ横断歩道の設置は、千葉県公安委員会が行うことになる。今後、注意表示看板を検討するとともに、公安委員会へ横断歩道等設置の

必要性の再調査を要望していきたい。

問 八街駅利用者のための駐車場整備促進に具体的などのように取り組むのか。

市長 中心市街地活性化や道路交通による環境問題も踏まえた、駐車場整備の推進方策は、民間主導による駐車場整備の誘導方法を検討し、良好な市街地整備ができるよう取り組みたい。

問 けやきの森公園の「清掃ボランティア集いお知らせ」掲示紙に火をつける不心得者にどのように対処するのか。

市長 全く遺憾であり、これらには、非常に苦慮している。そのようなことがないように、パトロールとか、また警察にもお願いして取り組んでいきたい。

問 けやきの森公園などにおける青少年の深夜徘徊にどのように取り組んでいるのか。

市長 学校・PTA、また市、そして特に警察にお願いして、今、警備、パトロールをしているので、これの強化をお願いしたい。

心の教育の推進

問 福祉教育の推進について

で、どのように取り組んでいくのか。

教育長 本市の各小中学校では、子どもたち一人ひとりの人権を尊重した教育に取り組みしており、そうした意味では、日々の学校教育の中に福祉教育を内包している。高齢化社会の到来、

ノーマライゼーションの進展など、福祉教育の必要性は今後もますます高まるので、福祉教育を通して、心の教育推進を図り、希薄になつた人と人との関わりを増しながら、ともに生きる人間の育成を目指します。

誠和会

- 山本 義一
- 山本 邦男
- 古川 宏史
- 北村 新司
- 横田 義和
- 中田 眞司

代表 眞問 山本 義一

市政運営

問 この4年間に、公約として掲げたことについてどのように検証、総括しているのか伺う。

市長 市長として3期、12

年が経過しようとしておりますが、特にこの4年間は健康・安全・活力ある街づくりを掲げ、さまざまな施策を実施しました。

平成16年6月には、健康は自ら守りましょう。交通ルールを守りましょう。犯罪のない明るい町をつくりましょうの3つをスローガンに健康安全都市宣言をしました。これは、市民一人ひとりの方々が健康に気をつけて、交通ルールを守り、犯罪の抑止に努められることが、健康で安心して暮らせる街づくりにつながると考えているからです。

市民の方々が健康で明るく生活できる町を築くために、平成16年度から乳がん検診にマンモグラフィによる検査を導入し、さらに平成18年度からは、エコーによる検査を導入するなど、市民健診事業の充実を図ってきました。

市民が安全で安心して暮らせる住環境の実現に向けて、佐倉警察署八街幹部交番は、平成19年度に移転することが決定しました。これにより今後、警察官の増員等による治安維持が、より図られると思われま



▲富山路切

また、市道223号線の改修工事をはじめ、富山十字路の交差点改良工事にあわせて富山路切の拡幅や文違1号線の改修あるいは、市道114号線、市道115号線の改修工事など交通事故防止のため道路改良工事にも取り組みました。

活力ある八街市を築くため、八街駅北側土地画整理事業を実施し、これにあわせて八街市の顔であるJR八街駅の橋上駅が完成しました。これにより駅北側地域の駅利用者の方々の利便性の向上と駅南口の混雑緩和につながったものと考えています。榎戸駅の整備も、ホームの上屋や駅前トイレを改修するとともに、榎戸駅東口の開設に努力しました。また、八街パイパ